

企画名：有機農産物摂取による尿中のネオニコチノイド量低減に関する調査研究

団体名：特定非営利活動法人 福島県有機農業ネットワーク

1. 報告要旨

慣行食材を食べると、合計で 5.0ppb のネオニコチノイドが尿から検出されました。検出されたのは、ジノテフランが 2.7ppb と最も高く、次がアセタミプリド(代謝産物)の 1.6ppb でした。他のネオニコチノイドも人によっては検出されました。5 日間有機食材を食べると、合計値が半分以下の 2.3ppb に下がりました。1 ヶ月食べ続けると 0.3ppb にまで下がりました。日常から有機食材を生産して自らも食べている有機農業者も 0.5ppb でした。田畑で散布されたネオニコチノイドは食材に残留して我々の体にも入ってきます(暴露)。慣行食材を食べ続けると、お母さんの中で子供がまだ胎児の時から大人になるまで複数のネオニコチノイドに継続して暴露される続けることになります。ネオニコチノイドへの継続的な暴露を減らす「予防原則」に立って有機農産物を食べることが勧められます。

2. 成果物

1. [フェイスブックでの情報発信](#)
2. 記者会見プレスリリース「[有機農産物を食べることで、殺虫剤ネオニコチノイドへの曝露を低減できる](#)」(2019.3.26)
3. 「[日本は、農薬の試験場?](#)」『ゆきネット新聞』19号(2019.5.10)
4. 「[有機食材続ければ体内の農薬大幅減 福島のNPOが調査](#)」『朝日新聞』大阪版(2019.7.1)